

## 第5回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール開催報告

第5回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールは、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催のもと、8月26日～29日の日程で行われました。サマースクール運営に携わった筑波大学 岩室憲幸教授にお話を伺いました。

TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバルの一環として、第5回TIAパワーエレクトロニクスサマースクールを開催しました。東京工業大学の赤木泰文教授をスクール長とし、筑波大学と産総研TPECの共催として実施されました。このサマースクールは、筑波大学大学院パワーエレクトロニクスコースの集中講義として他大学からの履修も可能になっており、筑波大学以外の大学の学生より単位認定の申請がありました。



講義風景

ポスターセッション

講義は3日間で、1日目の基礎、2日目の応用、3日目の最先端（英語での講義）として行われました。海外からは、Massachusetts Institute of TechnologyのD.J.Perreault教授より高周波数に関する講義を、またUniversity of CambridgeのF.Udrea教授からは、パワーデバイス、パワーICの高耐圧技術に関する講義をしていただきました。

- 第1日目 基礎(技術史とパワエレ基礎、現状と課題)
- 第2日目 応用(ワイドバンドギャップ半導体への期待)
- 第3日目 最前線(研究開発の最前線)【英語講義あり】
- 第4日目 見学会(オプション)
- Aコース: 鉄道総合技術研究所
- Bコース: 富士電機東京工場
- Cコース: 産総研 福島再生可能エネルギー研究所
- Dコース: TIA/パワーエレクトロニクス研究拠点
- Eコース: TIA/パワエレ計測実習

その他国内の先生を含め、世界のパワーエレクトロニクス分野で活躍している著名な先生の講義を直に聴講できたことは、学生にとって非常に良い機会であったと思います。各講義では、質問の時間が足りず、休憩時間にも講師の先生と議論している学生の姿が数多く見られました。3日目の夕方には修了式が行われ、本サマースクールで積極的意欲的に参加したとしてTIAパワーエレクトロニクスサマースクール奨励賞が女性を含む3名の学生に送られました。4日目は、見学会が行われました。見学は(公財)鉄道総合技術研究所、(株)富士電機、産総研福島再生可能エネルギー研究所、筑波大学を含むTIA関連施設、パワーエレクトロニクス関連計測技術の5コースであり、パワーエレクトロニクスに関連した現場を見学することは、学生にとって興味深かったと思われます。



学生修了者(中央手前の3名は奨励賞受賞者)



社会人修了者

開催日	2016年8月26日(金)～29日(月)
場所	産業技術総合研究所 つくば西事業所 TIA連携棟
主催	TIAパワーエレクトロニクスMG、産業技術総合研究所
共催	筑波大学大学院数理物質科学研究科(パワーエレクトロニクス研究室)
構成	講義14コマ+ポスター発表+交流会+施設見学会
参加人数	142名 内訳: 学生100名(大学院生92名、学部生8名)、社会人42名(TPEC参画企業20名、一般企業22名)
表彰者	奨励賞3名

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学TIA推進室

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 Tel. 029-853-5891 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp